

米兵による沖縄女性への強姦事件に抗議する！

また米兵の凶悪犯罪が繰り返された。10月16日、米海軍所属米兵2名による沖縄女性に対する強姦致傷事件が起った。沖縄では8月にも米海兵隊員による強制わいせつ事件が起ったばかりだ。

やり場のない怒りを禁じえない。

日米両政府は、いつものように「深刻な表情」を装い、「綱紀粛正」「地位協定の運用改善」などなど小手先の対応でごまかそうとしている。

絶対に許すことは出来ない。

なぜこのような事件が繰り返されるのか。

米軍は、沖縄の全市町村と県議会、首長の配備反対の意思表示、10万人を超える空前の規模の9.9沖縄県民大会に示された沖縄の人びとの思いを踏みにじり、欠陥輸送機MV22オスプレイ12機の普天間配備を強行した。日米政府間で決めたはずのルールさえ守らずに、市街地上空で危険な飛行訓練を連日繰り返している。

米軍の傍若無人な振る舞いは、今に始まったことではない。沖縄に軍事植民地状況を押し付けて恥じない日米両政府の差別的沖縄政策、その背景にある日米安保体制と地位協定の存在こそが、頻発する米兵の暴力事件の根源にあるのは明らかだ。

日米両政府は、米兵による凶悪な事件の責任を免れることは出来ない。

日米両政府は事件の責任を取れ！小手先の対応でごまかすな！

オスプレイの訓練を直ちに中止して、配備計画を白紙に戻せ！

世界一危険な普天間基地を即時閉鎖・返還せよ！

高江のオスプレイパッドの建設工事を中止せよ！

辺野古の新基地計画を撤回せよ！

2012年10月20日

沖縄の自立解放闘争に連帯し反安保を闘う連続講座